

湯ノ湖・湯川と釣りの歴史

かつて、奥日光には魚がすんでいなかったと言われていました。華厳の滝の下流から、イワナやヤマメなどを人の手で移植したことによって、釣りができるようになりました。

明治期、避暑に訪れたイギリス商人トーマス・グラバーが、戦場ヶ原を緩やかに流れる湯川の姿が故国のイギリスに似ていることから、領事館の協力により、明治35年にアメリカからカワマス(ブルックトラウト)の卵25,000粒を取り寄せてふ化稚魚を放流しました。

以来、湯ノ湖と湯川は皇室の財産として管理され外国高官のマス釣り場として利用され、今日に至ります。日本で初めてカワマスが放流され、イギリス式の釣りが伝えられたことから、日本におけるフライフィッシングの聖地とも言われています。

湯ノ湖・湯川の魚たち

ニジマス(RAINBOW TROUT)

アメリカの太平洋側やカムチャッカ半島が原産地で、奥日光には明治20年に初めて持ち込まれました。釣りの対象として親しまれていますが、多くは養殖され放流されたものです。

フライルアー・餌釣りなど、いずれでも釣れます。



カワマス(BROOK TROUT)

アメリカ東部原産のイワナの仲間です。奥日光を避暑地として訪れていた外国高官たちに釣りを楽しんでもらうため、幕末から日本に移り住んだイギリス商人トーマス・グラバーの働きかけで、明治35年に卵を輸入し湯ノ湖や湯川に放流しました。

流木の陰などに身を潜めて、上流から流れてくる虫などを狙っています。フライルアー・餌釣りなど、いずれでもヒットします。どん欲で、岸近くまでルアーを追ってくる場合があります。湯川の小田代橋付近では、10月下旬頃自然産卵が観察されています。



ヒメマス(KOKANEE)

ベニザケが、内陸に閉じこめられた(陸封)サケの仲間です。原産地は、北海道の阿寒湖や網走川です。奥日光には、明治39年に移植されました。

湯ノ湖では、6月頃まではタナが1.5~3mですが、夏には5m以上の深いところで釣れるようになります。

ベニサシを使った餌釣りが一般的ですが、浅タナで狙える時期にはフライルアーでも釣れます。

湯ノ湖では、9月末から10月上旬に自然産卵することがあります。



ホンマス(MASU TROUT)

ビワマス(アメノウオ)とサクラマス(ヤマメ)の中間種で、正式な和名はなく、奥日光ではこのように呼ばれています。性格はサクラマスによく似ています。かつて中禅寺湖に魚を移植した際、多くの種類に混じってサクラマスも放流され、近縁種との交雑によって誕生したと言われています。

釣る際には、ヒメマスより少し上のタナを狙うのがポイントのようです。

湯ノ湖に流入する白根沢では、9月末から10月上旬に自然産卵が観察されます。



釣り料金のご案内

	湯ノ湖		湯川
	舟釣り	岸釣り	
解禁日(5/1)	1日券 4,600円	1日券 3,600円	1日券 3,000円
5/2~5/31	1日券 3,600円 午後券 2,700円	1日券 2,600円 午後券 2,000円	1日券 2,000円 午後券 1,500円
6/1~9/30	1日券 2,600円 午後券 2,000円	1日券 2,000円 午後券 1,500円	
釣魚時間	解禁日は午前5時から午後5時まで		
	午前7時から 午後5時まで	原則として午前7時から午後5時まで (日の出から日没まで可)	
制限尾数	20尾まで		キャッチ&リリース
対象魚	ニジマス・カワマス・ヒメマス・ホンマス・ワカサギ・ウグイ・コイ・フナ		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 午後券は、当日の正午から発売します。 ● 小学生券は、湯ノ湖及び湯川共通で1人500円です。 ● 6枚綴りの回数券(大人用1日券5枚分料金)も販売しています(利用日:5/2~9/30)。 ● 現場で監視員から釣り券を購入する場合には、1日券のみの取り扱いとなります。なお現場販売では、手数料として1枚当たり500円(小学生券は300円)を加算させていただきます。 ● 舟釣りをされる場合には、湯元レストハウス(0288-62-2156)で舟を予約してから釣り券を購入してください。 ● 料金はすべて税込となります。 		
釣り券販売所			
	販売場所	販売日 時間	
湯ノ湖釣り事務所 TEL 0288-62-2524	舟釣り券・岸釣り券・湯川券・小学生券・回数券	(4/30:解禁前日) 17:00~21:00	(5/1:解禁日) 3:00~17:00
		(5/2~9/30) 6:30~17:00	
	赤沼茶屋 TEL 0288-55-0150	岸釣り券・湯川券・小学生券・回数券	(5/1:解禁日) 3:00~17:00
		(土・日・祝) 上記に同じ	
湯滝レストハウス TEL 0288-62-8611	湯川券・小学生券・回数券	(5/1:解禁日) 5:00~17:00	(平日) 8:00~17:00
		(土・日・祝) 上記に同じ	

※販売時間は、荒天時などに変動することもあります。

- ・「貸し竿」や「釣り餌」は、湯ノ湖釣り事務所と湯元レストハウスで取り扱っています。
- ・釣り舟は、湯元レストハウスに申し込んでください。利用時間はお問い合わせください。

◎釣り舟レンタル TEL 0288-62-2156

舟料金 : 2人乗り……1日 3,200円
: 3人乗り……1日 4,300円

奥日光 湯ノ湖・湯川 トラウトフィッシングガイド 解禁期間:2017年5月1日~9月30日

湯ノ湖釣り大会

5月1日(解禁)
8月5日(サマー)
9月23日(ファイナル)

湯ノ湖年間
トラウトランキング
5月1日~9月30日

湯川リパークリーン
10月1日
湯ノ湖放流は毎週
土、日、祝日
に行います!

全国内水面漁業協同組合連合会

湯ノ湖釣り事務所(開設期間:4月1日~10月15日)

〒321-1662 栃木県日光市湯元官有無番地
TEL 0288-62-2524 FAX 0288-62-2526
ホームページ: www.naisuimen.or.jp/nikko/
E-mail: nikko@naisuimen.or.jp

日光支所

〒321-1661 日光市中宮祠2482-3
TEL 0288-55-0702 FAX 0288-55-0767

2017年5月1日(月)朝5時 打ち上げ花火と同時に解禁

湯ノ湖釣り大会

魚の全長で順位を決定します(同サイズの場合には体重で決定します)。ニジマス、カワマス、ヒメマス、ホンマス、キッズ部門ごとに、大物賞を設けます(登録は、全部門を通じて一人1尾です)。大会前日と当日に、放流を行います。

大会は、通常料金で参加できます。

※料金は、別表をご確認ください。

解禁トラウトフィッシングフェスタ

5月1日(月)

- ・競技時間 5:00~12:00
- ・計測審査 12:00~13:00
- ・表彰式 13:00~13:30



サマー・トラウトフィッシングフェスタ

8月5日(土)

- ・競技時間 7:00~12:00
- ・計測審査 12:00~13:00
- ・表彰式 13:00~13:30



ファイナル・トラウトフィッシングフェスタ

9月23日(土)

- ・競技時間 7:00~12:00
- ・計測審査 12:00~13:00
- ・表彰式 13:00~13:30



※釣り大会の開催は、悪天候などにより延期または中止することがあります。その場合には湯ノ湖釣り事務所にお問い合わせください。

湯ノ湖 年間トラウトランキング

5/1~9/30までの間、いつでも参加・エントリーできます。ニジマス・カワマス・ヒメマス・ホンマスそれぞれ100位までの大物賞を競い、シーズン終了後、順位を決定し型シーズンに賞品を贈呈します。

登録は、3ページに記載した「湯ノ湖釣りルール」に則り、釣り上げた日の当日、湯ノ湖釣り事務所に魚を持ち込んで計測申請したものを対象とします。時間は、湯ノ湖釣り事務所の営業時間内に限ります。詳しくは、HPまたは湯ノ湖釣り事務所まで。

FFDBトラウトフィッシングGP2017

フライフィッシングデータバンク(<http://ff-db.jp/>)のグランプリに協賛しています。

釣りのルール

【調査票(アンケート)記入のルール】

湯ノ湖と湯川は、冷水域における魚類資源と釣りについての調査水域です。

釣りを行うに当たっては、釣り券販売時に配布する調査票にご記入の上、釣り券販売所もしくは回収ポストに投函してください。

また、HPからも回答できます(www.naisuimen.or.jp/nikko/)。

回収された調査票の抽選により、翌シーズンの釣り券引換証を100名様に、また、先着3,000名様に、「魚類資源調査記念パッチ」を差し上げます。

【湯ノ湖・湯川の共通ルール】

- ①生死にかかわらず、魚は持ち込まないこと。
- ②マス類は、全長15cm以下の小型魚をリリース(その場に再放流)すること。
- ③釣り券は、帽子や肩、背中など、遠くからも見える場所に付けること。
- ④釣り券の「払い戻し」や「再発行」、「貸し借り」、「譲渡」、「転売」は禁止です。
- ⑤「サビキ仕掛け」、「枝針仕掛け」、「撒き餌」、「寄せ餌」、「活きた魚」の使用は禁止です。
- ⑥キャストする時は、周囲の安全を確認して行うこと。釣り糸や釣り針が枝などに絡まないよう留意し、絡まった時は取り除くこと。
- ⑦脚立や竿掛けなどで“場所取り”はしないこと。設置されたものは撤去させていただきます。
- ⑧草木や川虫などを採らないこと。
- ⑨ゴミは捨てないよう、釣り場の美化に努めること。

【湯ノ湖ルール】

- ①湯ノ湖からの、魚の持ち帰りは1人20尾まで。ただし、活きた魚の持ち出しは禁止。
- ②竿の使用は、一人2本まで。
- ③舟は、貸し舟のみ、持ち込みは禁止です。貸し舟に、エンジンやモーターを取り付けることも禁止です。
- ④舟釣りでは、乗員全員がライフジャケットを着用すること。
- ⑤フローターチューブの使用も禁止です。
- ⑥トローリングは禁止です。

【湯川ルール】

- ①湯川は、キャッチ&リリース河川です。魚の持ち帰り、また「ピク」や「クーラーボックス」の持ち込みも禁止です。
- ②竿の使用は、一人1本。
- ③湿原保護立ち入り禁止区域(標識あり)には立ち入らないこと。湿地を踏み荒らさないよう、細心の注意をすること。



湯ノ湖・湯川釣リエリア



湯ノ湖：全域。
ただし、湖尻橋下流端から湯滝までは立ち入り禁止。

湯川：(1)湯滝下から泉門池上流の立ち入り禁止標識まで。
(2)背中合わせ下流の立ち入り禁止標識から温泉パイプ(竜頭の滝上)までの区域。ただし、遊歩道や木道、橋の上からの釣りは禁止です!

- ・奥日光の国立公園は、すばらしい自然の宝庫です。
- ・湿地の水辺を踏み荒らさないよう気を配りましょう。
- ・湯ノ湖と湯川の釣りルールやマナーを守って、楽しい釣り場づくりにご協力ください。

湯ノ湖・湯川フィールド情報

ホームページにて公開しています。▶
気温、水温、釣果、放流情報などを掲載しています。



釣り券発売所 全国内水面漁連 湯ノ湖釣り事務所



釣り券発売所 湯滝レストハウス

湯ノ湖・湯川 フィールドマップ

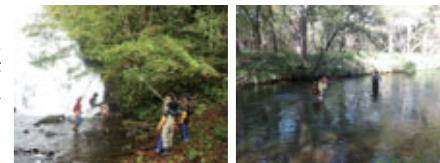


湯川リバークリーンと懇談会

10月1日(日)

湯川に感謝し水辺環境を守るため、釣りシーズンが終わった時期に川の清掃を行います。

水辺に木々の多い湯川では、枝先に釣り糸がからむことがあり、川の中や木に登っての除去作業が必要になります。釣り人の皆様もゴミの除去にご協力をお願いします。



さかなと森の観察園へ行ってみよう!



中禅寺湖畔にある国立研究開発法人 水産研究・教育機構中央水産研究所日光庁舎では、主に、日光地域を初めとしたマス類などの生態や資源についての調査研究を行っています。

研究所の園内の池では「さかなと森の観察園」もあって、ヒメマスやカワマスなどの餌やりが体験できるほか、魚や水について楽しく学べる「おさかな情報館」も見学できます。

菫蒲が浜バス停前

<http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>
TEL.0288-55-0055

周辺の施設

- 奥日光湯元温泉旅館協同組合案内所 TEL.0288-62-2570
- 湯元 電話市外局番 0288-62-0000

宿泊施設	TEL	宿泊施設	TEL	TEL
湯の家旅館	2431	奥日光倶楽部山の宿	8081	湯元駐在所 2517
ゆ宿美や川	2139	奥日光高原ホテル	2121	湯元レストハウス 2156
ホテル花の季	2426	ほのかな宿樹林	2411	つるやの塩羊羹本舗 2537
かつら荘	2571	休暇村日光湯元	2421	ゆ処山月五識の湯 2166
湯守釜屋	2141	奥日光森のホテル	2338	ゆの香 2326
奥日光パークロッジ深山	2211	奥日光小西ホテル	2416	あんよの湯 -
ホテル山月	2424	源泉の宿ゆの森	2800	湯元ビジターセンター 2321
紫雲荘	2528	湯元板屋	2131	
民宿若葉荘	2523	湯元ヒルサイドイン	2434	
日光四季の宿越後屋	2325	おおるり山荘	2700	
旅館白根荘	2144	スパビレッジカマヤ	8228	
実りのいえミノヤ	2464	万蔵旅館	25-3333	
湯乃湖荘	2534			